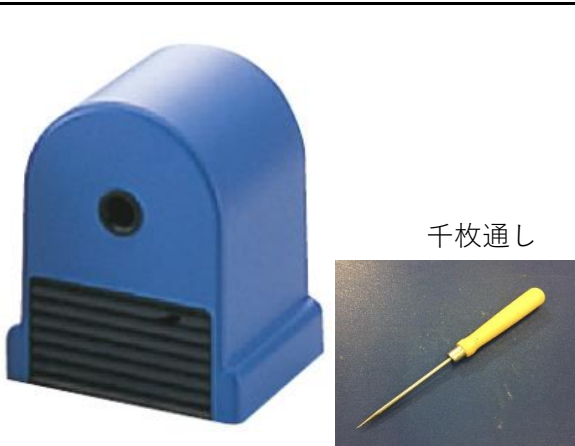
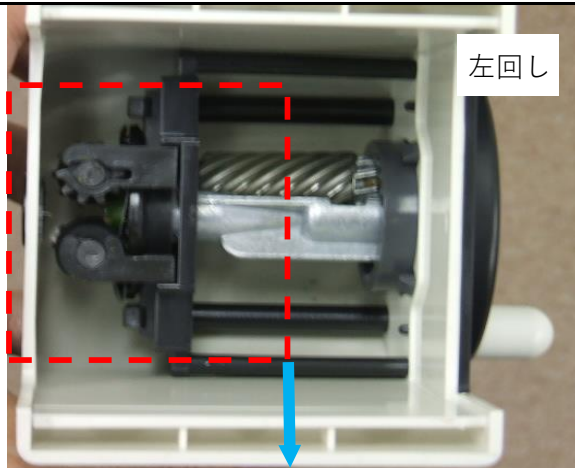


鉛筆削り WP-130N 短い鉛筆がとり出せない場合の対処方法



用意するもの：千枚通しなど丈夫で折れない材質で先端が尖ったもの

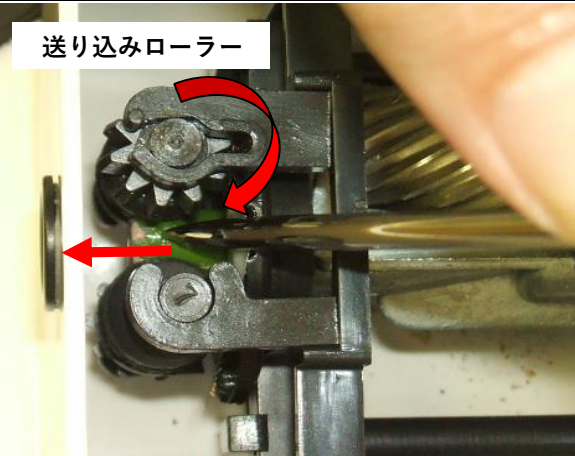
カッターナイフの刃や竹串など、折れたり欠けたりする材質のものは使わないでください。怪我の原因となります。



****手順****

**1：屑受けを外し内部メカを確認してください。
送り込みローラーの内側に鉛筆が入り込んでいる様子が見えます。**

送り込みローラーの内側に鉛筆が入り込んでいるとハンドル逆回転では取り出せなくなります。



2：左図の様に鉛筆軸の木材部分に千枚通しをしっかりと突き刺します。

3：そのまま入口方向へ押し付けながらハンドルを左回しに回します。

4：入口にある送り込みローラーが鉛筆を捉えると取り出せます。

うまく戻せない場合、弊社へお送りいただきましたら、修復しお戻しいたします。
当方への送料だけご負担ください。

プラス(株)ステーションナリーカンパニー
お問い合わせセンター WP-130修復係
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28
虎ノ門タワーズオフィス12F
0120-000-007